

# 消 防 年 報

平成23年版

旭市消防本部

## は し が き

本書は、平成24年4月1日現在の当消防本部及び消防団の現勢ならびに平成23年中の消防業務に関する諸統計と一部過去における諸統計を比較収録し、今後の消防行政の合理的運用をはかるとともに活動状況を紹介することを目的として作成したものであります。

平成24年7月

旭市消防本部

消 防 本 部

消 防 署



# 目 次

## 【消防本部】

1 消防本部の沿革	1
2 消防機構（組織）	4
3 消防施設	5
4 面積・人口・世帯数	6
5 基準消防力と現有消防力との比較	6
6 現有消防力に対する面積・人口・世帯数	6
7 予算（当初）決算の推移	6
8 消防本部車輛配置状況	7
9 歴代消防長	8
10 消防職員配置状況	9
11 消防職員階級別年齢表	9
12 消防職員勤続年数	9
13 消防研修機関派遣状況	10
14 資格取得状況	11
15 消防通信系統図	12
16 119番受理回数（5年間）	13
17 平成23年気象観測状況	14
18 消防法に定める防火対象物数（地区別）	16
19 地区別中高層建築物数	17
20 地区別危険物施設数	17
21 地区別消防水利状況	18
22 年別火災発生状況	19
23 平成23年地区別火災発生状況	20

24 年別・原因別火災発生件数	21
25 年別救急出場件数	22
26 年別・地区別・救急発生件数	23
27 平成23年地区別救急発生件数・搬送人員数	24
28 特別救助隊のあゆみ	25
29 特別救助隊編成表	26
30 年別救助状況	26
31 平成23年救助活動状況	27
32 平成23年地区別救助出場件数	27
33 平成23年消防隊出場状況	28
34 東北地方太平洋沖地震【東日本大震災】に伴う活動状況等	29

# 1消防本部の沿革

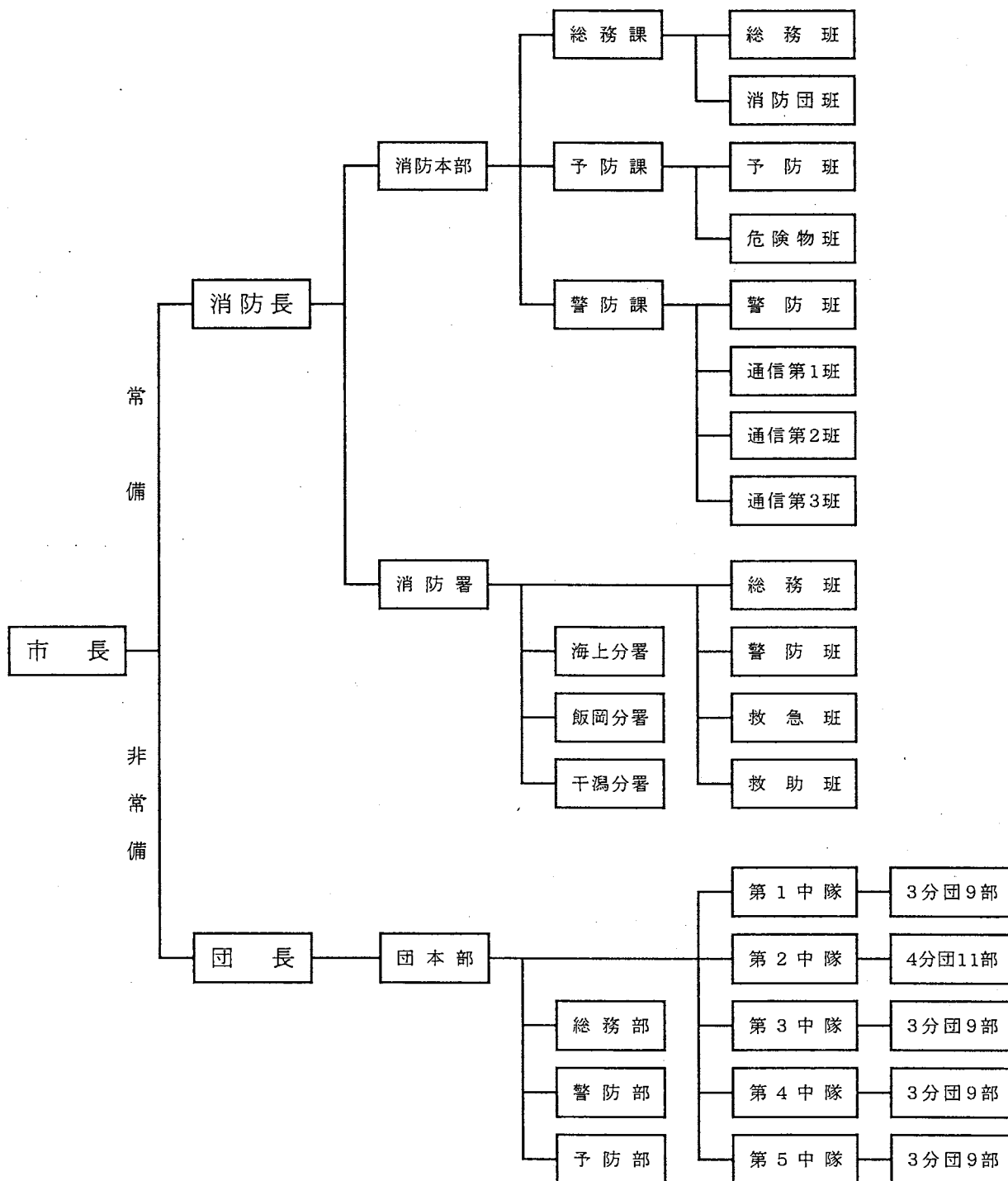
昭42 . 10 . 1	旭市では政令指定に基づき、消防本部、消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭43 . 12 . 29	政令指定に基づき、救急業務を開始する。
昭45 . 4 . 1	一市三町で知事宛消防組合設立許可の申請を行った。
昭45 . 4 . 17	旭市、飯岡町、海上町、干潟町に対し、旭市外三町消防組合設立許可され設立する。 消防職員33名、水槽付消防ポンプ自動車1台、消防ポンプ自動車1台、化学車1台、救急車1台、広報車1台。
昭45 . 10 . 3	旭市外三町消防組合消防本部消防署を設立し、消防業務を開始する。
昭46 . 1 . 5	消防職員 40名
昭46 . 4 . 1	消防職員 67名
昭46 . 6 . 1	政令に基づき、自治大臣から、飯岡町、海上町、干潟町が消防本部、消防署を置かなければならないと指定された。
昭46 . 6 . 3	海上分遣所を開設し、消防職員10名、消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭46 . 7 . 4	飯岡分遣所を開設し、消防職員13名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配置し、救急業務を開始する。
昭46 . 8 . 1	消防職員 70名
昭46 . 8 . 10	干潟分遣所を開設し、消防職員10名、水槽付消防ポンプ自動車1台を配置する。
昭47 . 4 . 1	消防職員 76名
昭48 . 4 . 1	消防職員 80名
昭48 . 6 . 30	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車の寄贈を受け旭消防署へ配置する。
昭49 . 11 . 1	海上分遣所へ救急車を購入し、救急業務を開始する。
昭50 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を82名とする。
昭51 . 4 . 1	消防本部の機構を改め、総務課、予防課、警防課の三課とする。 消防職員 81名
昭51 . 4 . 8	干潟分遣所へ救急車を配置、救急業務を開始する。
昭52 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、海上分遣所へ配置する。
昭53 . 9 . 1	消防職員 82名
昭54 . 11 . 20	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分遣所へ配置する。
昭55 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員92名とする。
昭55 . 10 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し干潟分遣所署へ配置する。
昭55 . 10 . 25	救助工作車を購入し、旭消防署へ配置する。
昭56 . 4 . 1	消防職員87名
昭57 . 3 . 3	消防庁長官表彰旗受章する。
昭57 . 4 . 1	消防署に通信指令室を設置し、室員を配置する。 消防職員92名
昭58 . 2 . 1	消防署に救急指令装置(B型)を配置すると同時に、飯岡町、海上町、干潟町からの119番受信を開始する。
昭58 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課、予防課、警防課、通信指令室の三課一室とする。 消防職員92名
昭58 . 11 . 17	消防庁舎建設用地を取得する。(民有地 1,037㎡)

昭59 . 2 . 22	消防本部、消防署に千葉県防災行政無線を設置する。
昭59 . 4 . 3	消防庁舎建設用地を取得する。(旭市土地開発公社所有地 3, 527.2㎡)
昭60 . 2 . 27	消防庁舎新築工事起工式を挙げる。
昭60 . 12 . 23	消防庁舎新築工事完了する。
昭61 . 4 . 1	消防職員92名
昭62 . 5 . 1	消防職員91名
昭63 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を95名とする。 消防職員92名
平元 . 4 . 1	消防職員94名
平3 . 1 . 29	海上分遣所仮眠室を増築する。(22.568㎡)
平3 . 3 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を102名とする。
平3 . 3 . 25	はしご付消防自動車(30m級)を購入し、旭消防署へ配置する。
平3 . 4 . 1	消防本部事務部門につき、第2・第4土曜日閉庁を実施する。 消防職員95名
平4 . 3 . 30	救急用無線(救急波)施設を整備する。
平4 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を125名とする。 消防職員98名
平4 . 9 . 1	消防職員99名
平4 . 9 . 3	衛星通信回線(ふるさと千葉情報ネットワーク整備)運用を開始する。
平5 . 4 . 1	完全週休2日制を実施する。 消防職員106名
平6 . 4 . 1	消防本部の機構を総務課・予防課・警防課・指令課の4課とする。 消防職員116名
平7 . 3 . 16	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、旭消防署へ配置する。
平7 . 4 . 1	救急救命士業務を開始する。 消防職員122名(女性3名採用)
平7 . 10 . 1	消防本部、消防署設置条例を改正し、分遣所の名称を分署とする。
平8 . 2 . 28	消防署救急消毒作業室(木造、平屋、39㎡)を新築する。
平8 . 10 . 1	消防組織法の規定に基づき消防本部に消防職員委員会を置く。
平9 . 2 . 20	旭消防署に、消防訓練塔(高さ21m、一部倉庫)を新築する。
平9 . 3 . 4	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波(1波、5W、150.73MHz)を新規整備する。
平10 . 4 . 1	消防職員119名
平11 . 4 . 1	消防職員118名
平12 . 4 . 1	消防署、3分署、指令課の勤務を3部交代制勤務とする。 消防職員121名
平12 . 8 . 28	旭消防署のはしご付消防自動車オーバーホール整備する。
平13 . 3 . 15	消防緊急通信指令施設設計を完了する。
平13 . 4 . 1	消防職員122名
平13 . 12 . 25	発電・変電収納庫(ブロック造、平屋、29.11㎡)を新築する。

平14 . 3 . 27	消防本部指令課へ、消防無線全国共通波2波(5W、148.75MHz、154.15MHz)を整備する。 消防本部指令課へ、消防緊急通信指令施設(I型)を整備する。
平14 . 4 . 1	消防職員124名
平15 . 3 . 24	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、海上分署へ配置する。
平15 . 4 . 1	消防職員の定数条例を改正する。定員を135名とする。 消防職員125名
平16 . 4 . 1	消防職員126名
平17 . 3 . 25	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、干潟分署へ配置する。
平17 . 4 . 1	消防職員129名
平17 . 7 . 1	旭市外三町消防組合を構成する、旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、新旭市の誕生により、旭市消防本部・消防署が発足する。 条例定数138名 消防職員128名
平18 . 3 . 22	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、旭消防署へ配置する。
平18 . 3 . 28	携帯電話からの119番通報の直接受信を開始する。
平18 . 4 . 1	消防職員129名
平18 . 11 . 17	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 2 . 2	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、飯岡分署へ配置する。
平19 . 4 . 1	消防職員129名
平19 . 10 . 19	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、干潟分署へ配置する。
平20 . 1 . 25	救助工作車(Ⅱ型)・救助用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平20 . 4 . 1	消防職員128名
平20 . 8 . 22	はしご付消防自動車オーバーホール整備する。
平21 . 3 . 23	携帯・IP電話位置情報システム(簡易型)整備する。
平21 . 4 . 1	消防職員130名
平21 . 12 . 24	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 2 . 26	指揮車(救命ボートトレーラー付)を購入し、消防署へ配置する。
平22 . 4 . 1	消防職員129名
平22 . 5 . 13	高規格救急車及び高度救命処置用資器材を購入し、消防署へ配置する。
平23 . 2 . 21	消防ポンプ自動車を購入し、飯岡分署へ配置する。
平23 . 3 . 11	東日本大震災により飯岡分署、消防署水槽付消防ポンプ自動車が被災する。
平23 . 4 . 1	消防職員128名 消防本部の機構を改編により総務課・予防課・警防課の3課とする。
平23 . 6 . 1	海上分署を海上支所内に移転し、消防業務を開始する。
平24 . 3 . 22	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、消防署へ配置する。
平24 . 4 . 1	消防職員126名 飯岡分署を飯岡支所内に移転し、消防業務を開始する。



## 2 消防機構(組織)



### 3 消 防 施 設

#### 消防庁舎等

平成24年4月1日 現在

区分	所在地	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	用途	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年月日
消防本部・消防署	旭市イの 2953番地1	4,564.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,235.70	昭和60年12月23日
			車庫(北)	鉄骨造 平屋建	387.91	〃
			車庫(南)	鉄骨造 平屋建	138.08	〃
			浄化槽室	鉄筋コンクリート 平屋建	9.05	〃
			救急消毒室	木造 平屋建	39.74	平成8年2月28日
			訓練塔	鉄骨造(高さ21m) 一部倉庫	90.00	平成9年2月20日
			発電・変電収納庫	コンクリートブロック造 平屋建	29.11	平成13年12月25日
海上分署	旭市高生 1番地	9,467.39	支所庁舎	鉄骨コンクリート造 3階建	113.90 (2,879.50)	平成23年6月1日 改築 (昭和59年8月)
飯岡分署	旭市萩園 1800番地	10,576.42	支所庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	125 (2,295.91)	平成24年4月1日 改築 (昭和49年1月)
干潟分署	旭市南堀之内 17番地	1,010.20	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	354.73	昭和46年8月10日

## 4 面積・人口・世帯数

区 分	面積 (km <sup>2</sup> )	国 勢 調 査 ( H22.10.1 )		人 口 (平成 24 年 4 月 1 日)			世 帯 数
		人 口	世 帯 数	男	女	合 計	
旭 市	129.91	69,058	23,157	33,865	35,358	69,223	25,057

## 5 基準消防力と現有消防力との比較

平成24年4月1日 現在

種 別		区 分	基 準 数	現 有 数	不 足 数
消 防 本 部 ・ 署	消 防 署 の 数		1	4	
	消 防 ポンプ自動車		8 台	(予備車を含む) 9 台	
	化 学 車		1 台	1 台	
	梯 子 車		1 台	1 台	
	救 助 工 作 車		1 台	1 台	
	特 殊 車 等 (調査車・支援車等)		4 台	4 台	
	救 急 車		4 台	(予備車を含む) 5 台	
	消 防 職 員		221 人	126 人	95 人
消 防 団	市街地(台数・口数)		4 台 7 (口)	5 台 9 (口)	
	準市街地 (口数)		78 (口)	52 (口)	26 (口)
	その他の地域(口数)		15	7 (口)	8 (口)

## 6 現有消防力に対する面積・人口・世帯数

平成24年4月1日 現在

組 織	区 分	消 防 力	面 積 (km <sup>2</sup> )	人 口 (人)	世 帯 数
消 防 本 部	1 署 々 当 た り		32.48	17,306	6,264
	ポ ン プ 1 台 あ た り		16.24	8,653	3,132
	消 防 職 員 1 人 あ た り		1.03	549	199
消 防 団	ポ ン プ 1 台 あ た り		2.60	1,384	501
	消 防 団 員 1 人 当 た り		0.13	72	26

## 7 予算(当初)決算の推移

単位:千円

年 度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
当 初 予 算 額	25,070,000 (1,264,985)	25,580,000 (2,234,972)	25,550,000 (1,802,483)	26,910,000 (1,082,535)	26,850,000 (1,252,908)
歳 出 決 算 額	25,449,477 (1,245,954)	24,786,140 (1,477,298)	27,248,407 (1,718,538)	26,565,651 (1,089,891)	( )

( )内は消防費

# 8 消防本部車両配置状況

区分 配置先	呼 称	車 種	シャシー メーカー	年 式	無線	ポンプ 級 別	ポンプ等メーカー
消防本部	旭6号車	広 報 車	ト ヨ タ	平成9年	有		
	旭8号車	指 令 車	ニ ッ サ ン	平成11年	有		
	旭10号車	調 査 広 報 車	ト ヨ タ	平成7年	有		
	旭13号車	防 火 指 導 車	ト ヨ タ	平成8年	有		
	小 型 連 絡 車		三 菱	平成14年	無		
消 防 署 (本署)	救旭1号車	高規格救急車	ト ヨ タ	平成22年	有		エイバン商事(資機材)
	救旭2号車	高規格救急車	ニ ッ サ ン	平成15年	有		フクダ電子(資機材)
	旭2号車	水槽付ポンプ車	日 野	平成24年	有	A2級	森 田 ポ ン プ
	旭3号車	普通ポンプ車	い す ゞ	平成16年	有	A2級	GMいちはら工業
	旭4号車	普通ポンプ車	い す ゞ	平成9年	有	A2級	GMいちはら工業
	旭5号車	化 学 車	日 野	平成5年	有	A2級	森 田 ポ ン プ
	旭7号車	救助工作車	日 野	平成20年	有		森 田 ポ ン プ
	旭9号車	指 揮 車	ホ ン ダ	平成22年	有		
	旭11号車	搬 送 車	ニ ッ サ ン	平成12年	有		
	旭12号車	梯 子 車	ニ ッ サ ン ディーゼル	平成3年	有		森 田 ポ ン プ
	旭15号車	支 援 車	ト ヨ タ	平成17年	有		
	旭16号車	支 援 車	ト ヨ タ	平成15年	有		
	小 型 連 絡 車		ニ ッ サ ン	平成23年	無		
海上分署	海上1号車	高規格救急車	ト ヨ タ	平成19年	有		フクダ電子(資機材)
	海上2号車	水槽付ポンプ車	日 野	平成16年	有	A2級	日 本 造 機
	海上3号車	普通ポンプ車	三 菱	平成8年	有	A2級	GMいちはら工業
	小 型 連 絡 車		三 菱	平成14年	無		
飯岡分署	飯岡1号車	高規格救急車	ト ヨ タ	平成18年	有		フクダ電子(資機材)
	飯岡2号車	水槽付ポンプ車	日 野	平成18年	有	A2級	日 本 造 機
	飯岡3号車	普通ポンプ車	日 野	平成23年	有	A2級	GMいちはら工業
	小 型 連 絡 車		ス ズ キ	平成15年	無		
干潟分署	干潟1号車	高規格救急車	ト ヨ タ	平成17年	有		フクダ電子(資機材)
	干潟2号車	水槽付ポンプ車	日 野	平成19年	有	A2級	GMいちはら工業
	干潟3号車	普通ポンプ車	い す ゞ	平成9年	有	A2級	GMいちはら工業
	小 型 連 絡 車		三 菱	平成16年	無		

## 9 歴代消防長

昭和42年10月1日 旧旭市消防本部を設立

歴代	消防長名	在職期間	摘要
初代	平川 清	自 昭和42年10月1日 至 昭和45年3月31日	旭市助役兼任
2代	伊藤 政秋	自 昭和45年4月1日 至 昭和45年4月16日	旭市長兼任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町で旭市外三町消防組合を設立			
初代	伊藤 政秋	自 昭和45年4月17日 至 昭和46年5月31日	組合長兼任
2代	鶴岡 良介	自 昭和46年6月1日 至 昭和50年5月31日	専任
3代	大木 利一	自 昭和50年6月1日 至 昭和53年4月30日	専任
4代	林 俊二	自 昭和53年5月1日 至 昭和57年6月30日	専任
5代	関口 清	自 昭和57年7月1日 至 昭和59年3月31日	専任
6代	飯田 省三	自 昭和59年4月1日 至 昭和61年3月31日	専任
7代	下妻 文男	自 昭和61年4月1日 至 平成元年3月30日	専任
8代	仲條 栄樹	自 平成元年4月1日 至 平成4年3月31日	専任
9代	矢指本 静幸	自 平成4年4月1日 至 平成8年3月31日	専任
10代	飯田 繁	自 平成8年4月1日 至 平成11年3月31日	専任
11代	石毛利 夫	自 平成11年4月1日 至 平成13年12月31日	専任
12代	椎名 秋雄	自 平成14年1月1日 至 平成16年3月30日	専任
13代	佐久間 正	自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日	専任
旭市・飯岡町・海上町・干潟町の合併により旭市消防本部を設立			
初代	佐藤 眞一	自 平成17年7月1日 至 平成20年3月31日	専任
2代	菅谷 衛一	自 平成20年4月1日 至 平成22年3月31日	専任
3代	佐藤 清和	自 平成22年4月1日	専任

# 10 消防職員配置状況

平成24年4月1日 現在

階級別 区分		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員	計
消防本部	消防長	1								1
	総務課		1	2	2				4 (2)	9 (2)
	予防課		1	1	3					5
	警防課		2	1	9 (3)					12 (3)
	小計	1	4	4	14 (3)				4 (2)	27 (5)
消防署	署長		1							1
	副署長		3							3
	本署			3	12	7	14	6		42
	海上分署			1	7	3	4	3		18
	飯岡分署			1	6	4	3	3		17
	干潟分署			1	6	2	6	3		18
	小計		4	6	31	16	27	15		99
合計		1	8	10	45 (3)	16	27	15	4 (2)	126 (5)

( )内は女子数

# 11 消防職員階級別年齢表

平成24年4月1日 現在

階級別 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務員	計
18歳～20歳							2		2
21歳～25歳						16	11		27
26歳～30歳					9	11	2		22
31歳～35歳				11 (2)	5				16 (2)
36歳～40歳				20 (1)	1				21 (1)
41歳～45歳				9	1			1	11
46歳～50歳			6	4				1	11
51歳～55歳		1	2	1				1 (1)	5 (1)
56歳以上	1	7	2					1 (1)	11 (1)
合計	1	8	10	45 (3)	16	27	15	4 (2)	126 (5)

( )内は女子数

# 12 消防職員勤続年数

平成24年4月1日 現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計	
19	29	13	25 (3)	13	1	15	11 (2)	126	(5)

事務吏員含む ( )内は女子数

# 13 消防研修機関派遣状況

区 分		年 度						合 計
		昭 和 38 年 か ら	平 成 18 年 度	平 成 19 年 度	平 成 20 年 度	平 成 21 年 度	平 成 22 年 度	
消 防 大 学 校	上級幹部科	2						2
	幹部研修科	9						9
	警防科	8					1	9
	予防科	2					1	3
	救急科	2						2
	救助科	8	1					9
	火災調査講習会	2						2
	新任教官科				1			1
千 葉 県 消 防 学 校	初任科	174	4	5	6	4	2	195
	初級幹部科	32						32
	中級幹部科	21						21
	幹部特別研修科	6						6
	予防課程	1						1
	警防課程	10						10
	特殊災害科				1	1	1	3
	救助課程	35				1	1	37
	水難救助課程	9						9
	無線通信課程	14						14
	査察課程	1				1		2
	火災調査課程	6			1		1	8
	救急Ⅰ課程	74						74
	救急Ⅱ課程	32						32
	救急課程	60	4	4	4	6	8	86
	訓練指導科	63	1	1	1	1		67
	管理職科	1						1
	機 械 科	4						4
	はしご自動車講習	29	1	1	1	1	1	34
	薬剤投与・気管挿管講習	3	1					4
薬剤投与講習		1			2		3	
救急救命士研修所	12	1	1	1	1	1	17	
薬剤投与講習(研修所)	2	1	2	1			6	
合 計	622	15	15	18	17	16	703	

# 14 資格取得状況

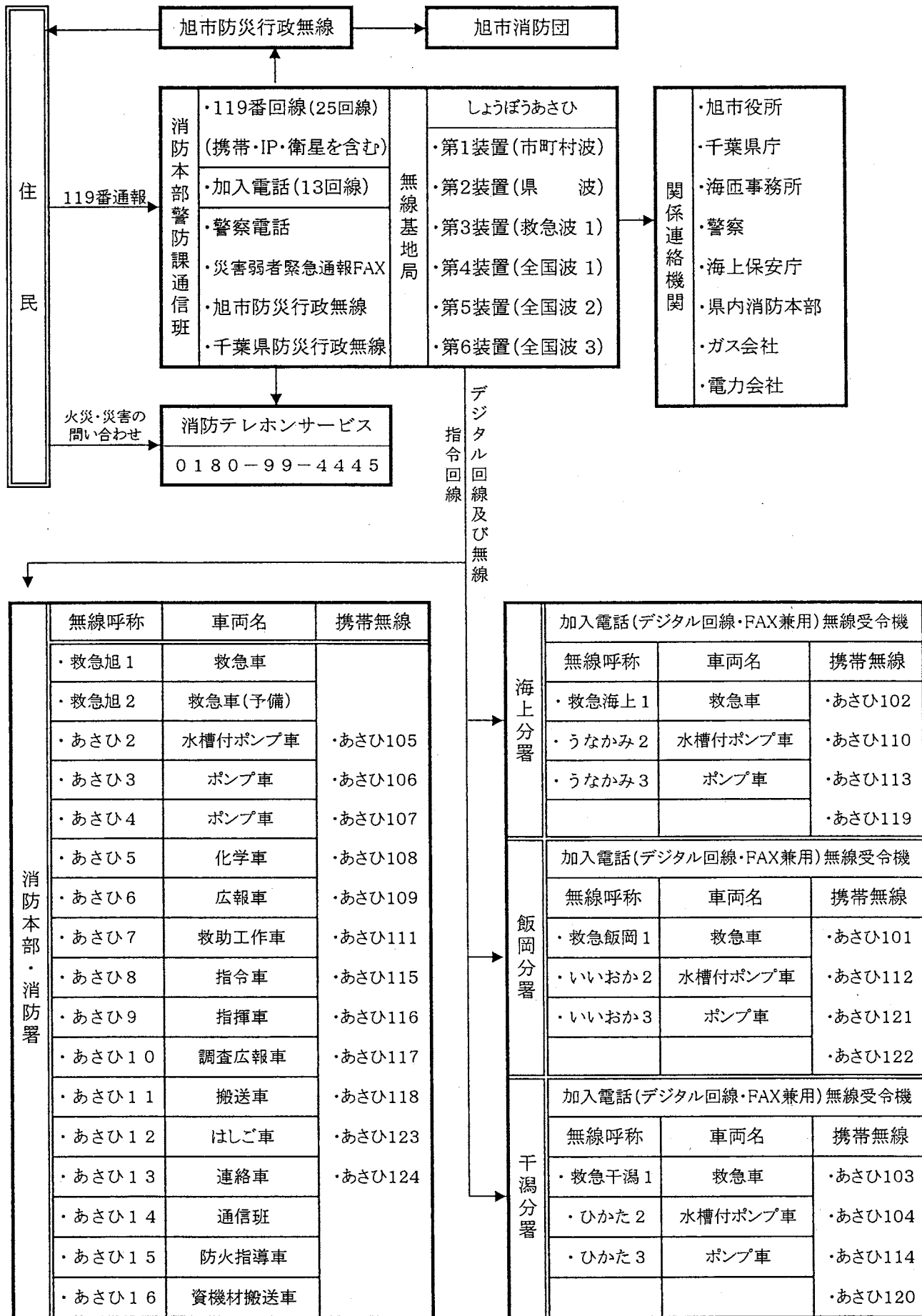
平成24年4月1日 現在

資格等の名称		階 級						合 計
		消 防 以 上 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
車 輛 船 舶 関 係	大型自動車運転免許	5	8	36	12	25	5	91
	大型特殊自動車運転免許	1		1		1		3
	けん引自動車免許	1			1	1		3
	小型船舶操縦免許	1	2	9	3			15
労 基 関 係	衛生管理者	1	1	2				4
	潜水士	2	3	14	9	14	3	45
	特定科学物質等作業主任者	1	2	6				9
	小型移動式クレーン	1	3	17	5	2		28
	玉掛け技能講習	2	4	15	5	2		28
	高圧ガス(丙種)							
	酸素欠乏危険作業主任者	2	2	10	3	2		19
消 防 関 係	救急救命士	2	1	1				4
	気管挿管認定救急救命士			3				3
	薬剤投与救急救命士	1	1	6	2	3	1	14
	救急(Ⅱ)	4	6	9				19
	救急(標準)	1	3	28	15	18	4	69
	JPTECプロバイダー		2	23	12	22	4	63
	JPTECインストラクター		1	5				6
	BLSプロバイダー			1				1
	BLSインストラクター		1	1	1			3
	危険物取扱者(乙種)	1		9	14	27	11	62
	危険物取扱者(丙種)	1		11		1		13
	第2級陸上特殊無線技士	3	7	12				22
	第3級陸上特殊無線技士			33	16	27	9	85
特別管理産業廃棄物管理責任者			5	2			7	



# 15 消防通信系統図

平成24年4月1日 現在



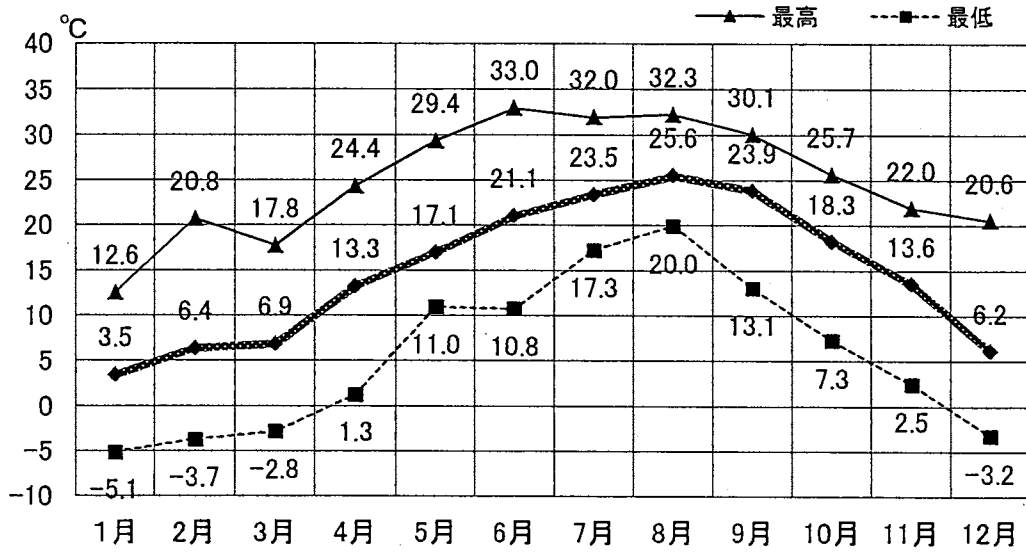
## 16 1 1 9 番 受 理 回 数 ( 5 年 間 )

種別	年別		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	合 計 (回)				
	平成19年	平成20年										
火 災	113	(16)	81	(27)	56	(35)	85	(44)	80	(40)	415	(162)
火災問合せ	13	0	7	0	11	0	20	(5)	10	(8)	61	(13)
救 急	2,094	(528)	2,014	(405)	1,924	(459)	2,550	(506)	2,283	(727)	10,865	(2,625)
災 害	7	(2)	3	(2)	4	(1)	0	0	36	(13)	50	(18)
偵 察	12	0	17	0	12	0	19	(9)	26	(13)	86	(22)
誤 報	3	0	0	0	2	0	1	0	1	0	7	0
間 違 い	121	0	95	0	88	0	96	(33)	108	(38)	508	(71)
いた ず ら	44	0	26	0	51	0	21	(5)	8	(3)	150	(8)
通 報 訓 練	124	0	125	0	113	0	132	(12)	155	(13)	649	(25)
試 験	210	0	223	0	256	0	186	(22)	111	(25)	986	(47)
そ の 他	698	0	592	0	305	(251)	418	(188)	511	(202)	2,524	(641)
医 療 照 会	27	0	24	0	27	0	42	(30)	32	(20)	152	(50)
合 計 ( 回 )	3,466	(546)	3,207	(434)	2,849	(746)	3,570	(854)	3,361	(1,102)	16,453	(3,682)

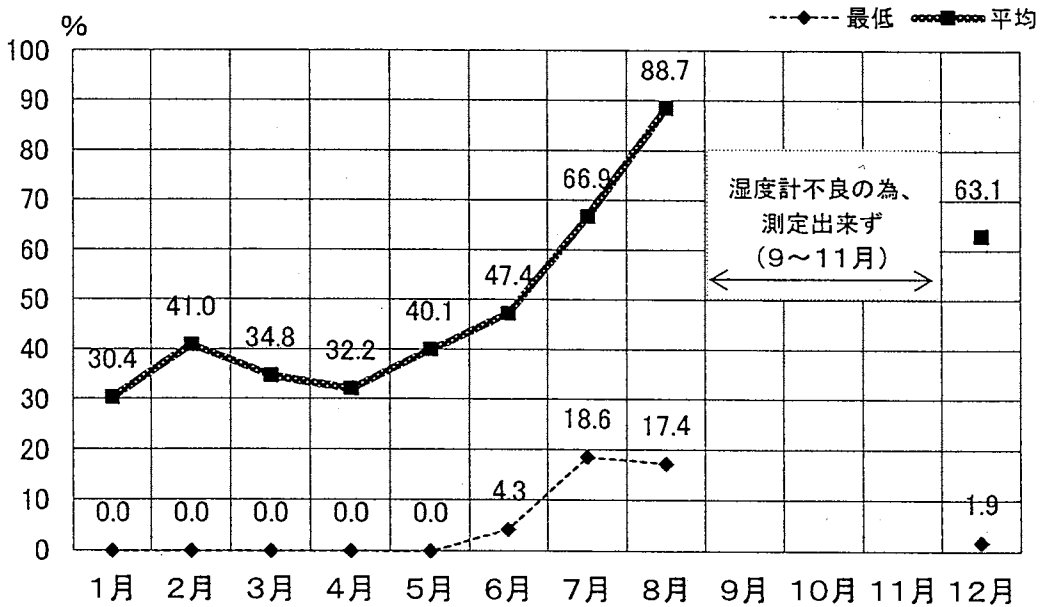
※ ( )内は携帯119番の受理回数

# 17 平成 23 年 気象 観測 状況

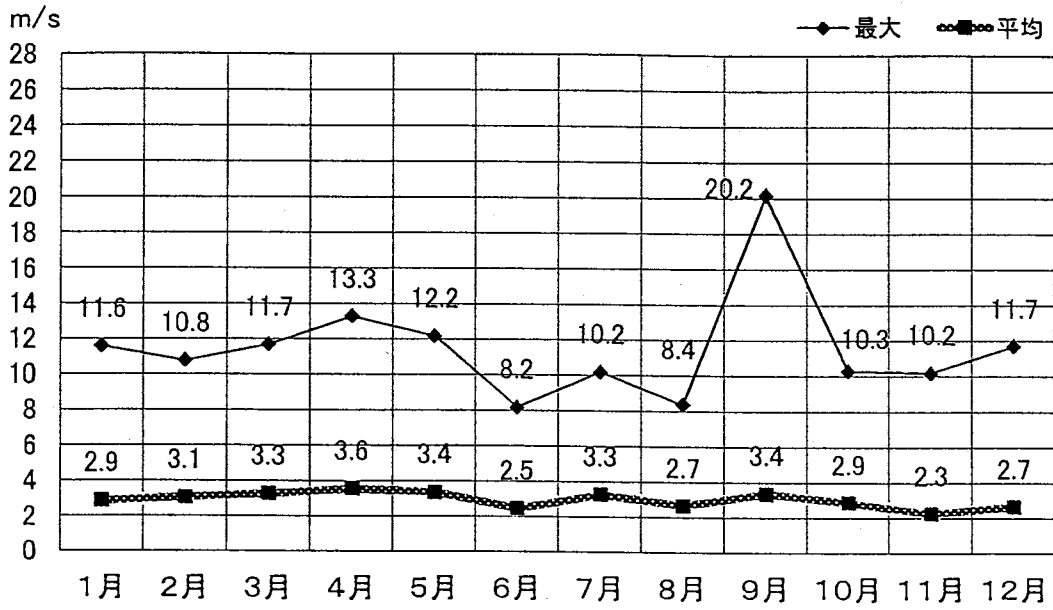
## (1) 最高・最低・平均気温



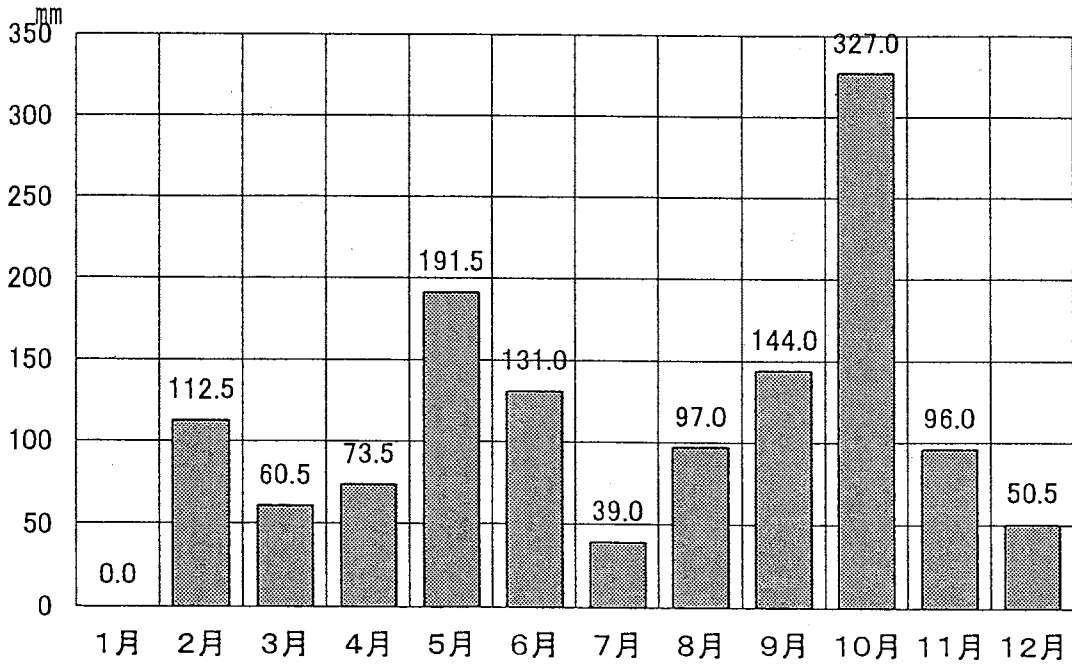
## (2) 最低・平均湿度



### (3) 最大・平均風速



### (4) 降雨量



# 18 消防法に定める防火対象物数(地区別)

(消防用設備を必要とする対象物)

平成24年4月1日 現在

用途(防火対象物)	旭地区	海上地区	飯岡地区	千潟地区	合計
劇場、映画館、観覧場	2	1		1	4
公会堂、集会場	15	5	5	8	33
キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類					0
遊技場、ダンスホール	7	1			8
カラオケボックス、インターネットカフェ	1				1
待合、料理店の類					0
飲食店	71	9	12	16	108
百貨店、マーケット、物品販売業店舗	121	9	13	7	150
旅館、ホテル、宿泊所	28	1	16	1	46
寄宿舎、下宿、共同住宅	258	46	27	9	340
病院、診療所、助産所	33	3	1		37
老人ホーム、救護、障害者支援施設	12	3	2	3	20
デイサービスセンター、福祉施設、保育所	30	15	6	4	55
幼稚園、特別支援学校	5	1	1		7
小学校、中学校、高等学校、各種学校	63	10	11	8	92
図書館、博物館、美術館	1	1	1	1	4
蒸気浴場、熱気浴場					0
公衆浴場	2				2
車輛の停車場、船舶又は航空機の発着場	1				1
神社、寺院、教会の類	10	2	1		13
工場、作業場	258	30	59	37	384
自動車車庫、駐車場	22	3	3	3	31
倉庫	210	27	31	26	294
銀行、官公署等の事務所	175	67	55	42	339
複合用途(特定防火対象物)	192	12	25	5	234
上記以外の複合用途	27	5	4	3	39
重要文化財等				2	2
合 計	1,544	251	273	176	2,244

## 19 地区別中高層建築物数

平成24年4月1日 現在

階数	地区別	旭地区	海上地区	飯岡地区	干潟地区	合計
3階		138	16	27	14	195
4階		30	3	5	3	41
5階		9	1	4		14
6階		11				11
7階		1		1		2
8階		1				1
9階		1				1
10階		1				1
12階		1				1
合計		193	20	37	17	267

## 20 地区別危険物施設数

平成24年4月1日 現在

製造所等 地区別	製造所	貯蔵所							取扱所				合計
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所	
旭地区	4	12	39	4	47		30	47	38	3		33	257
海上地区	2	3	12		9		10	3	11			6	56
飯岡地区		3	6	0	7			2	8			6	32
干潟地区	1	7	22		4		6	2	11			12	65
合計	7	25	79	4	67	0	46	54	68	3	0	57	410

## 21 地区別消防水利状況

平成24年4月1日 現在

区分 地区別	防 火 水 槽					消 火 栓	池	河 川	プ ー ル	合 計
	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	100m <sup>3</sup> 以上	小 計					
旭地区	63	192 (36)	17	8 (4)	280 (40)	1,051	4	12	10	1,357 (40)
海上地区	10	84 (11)	4	5 (4)	103 (15)	192	3	6	3	307 (15)
飯岡地区	12	52 (11)	5	4	73 (11)	185	1	1	4	264 (11)
千潟地区	23	26 (6)	13	1 (1)	63 (7)	180			3	246 (7)
合 計	108	354 (64)	39	18 (9)	519 (73)	1,608	8	19	20	2,174 (73)

※ ( )内は耐震性

## 22 年 別 火 災 発 生 状 況

区 分		年 別					
		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	
火 災 件 数		41	33	31	31	30	
損 害 額 (千円)		164,095	75,694	109,677	95,880	118,869	
建 物 火 災	件 数	15	17	17	12	14	
	焼 損 棟 数	全 焼	19	7	8	6	5
		半 焼	1	1	2	2	4
		部 分 焼	9	10	6	6	3
		ぼ や	2	5	8	1	2
		合 計	31	23	24	15	14
	焼損面積 (㎡)	2,330	730	1,046	911	1,018	
	焼表面積 (㎡)	103	5	5	10	0	
	損 害 額 (千円)	163,008	75,024	108,634	92,017	116,312	
	林 野 火 災	件 数	0	1	0	3	1
焼損面積 (a)		0	4	0	21.85	20	
損 害 額 (千円)		0	10	0	16	0	
車 両 火 災	件 数	2	4	3	3	4	
	焼損台数 (台)	1	5	3	3	5	
	損 害 額 (千円)	126	465	968	445	2,000	
船 舶 火 災	件 数	0	0	0	1	0	
	焼損隻数 (隻)	0	0	0	1	0	
	損 害 額 (千円)	0	0	0	3,250	0	
そ の 他	件 数	24	11	11	12	11	
	損 害 額 (千円)	961	195	75	152	557	
死 者		3	1	0	0	1	
負 傷 者		7	8	2	0	3	



## 23 平成23年地区別火災発生状況

区 分		地 区 別				合 計	
		旭地区	海上地区	飯岡地区	干潟地区		
火 災 件 数		17	4	7	2	30	
損 害 額 (千円)		81,021	202	16,800	20,846	118,869	
建 物 火 災	件 数	9		4	1	14	
	焼損面積 (㎡)	731		287		1,018	
	焼表面積 (㎡)	0				0	
	損 害 額 (千円)	80,937		16,099	19,276	116,312	
	焼 損 棟 数	全 焼	3		2		5
		半 焼	4				4
		部 分 焼	1		2		3
		ぼ や	1			1	2
		合 計	9		4	1	14
	罹災世帯 (帯)		2		3		5
罹災人員 (人)		5		7		12	
林 野 火 災	件 数	1				1	
	焼損面積 (a)	20.00				20.00	
	損 害 額 (千円)	0				0	
車 両 火 災	件 数	1	1	1	1	4	
	焼損台数 (台)	1	2	1	1	5	
	損 害 額 (千円)	80	200	150	1,570	2,000	
船 舶 火 災	件 数					0	
	焼損隻数 (隻)					0	
	損 害 額 (千円)					0	
そ の 他	件 数	6	3	2	0	11	
	損 害 額 (千円)	4	2	551	0	557	
死 者						0	
負 傷 者						0	

# 24年別・原因別火災発生件数

原因別		年 別					合計	
		平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年		
一 般 火 災	たき火	10					10	
	たばこ	7	2	2	1	1	13	
	こんろ	まき		1				1
		ガス	2	3	2	2		9
	かまど	電気						0
		まき						0
	風呂釜	ガス						0
		石油						0
	マッシャー						0	
	ライター	1		1			2	
	取火・残火の不始末				3	1	4	
	灯火						0	
	線香・蚊取線香						0	
	こたつ	炭・練炭						0
		電気						0
	煙突		1				1	
	天ぷら鍋		3	2			5	
	焼却炉						0	
	火花	1					1	
電 気 関 係	電球						0	
	電気配線等	1		2	4		7	
	電線スパーク			1			1	
	モーター						0	
	配電盤	1	1				2	
	変圧器						0	
	電気毛布						0	
	保温器						0	
	電気ストーブ						0	
	電気カーペット		1				1	
石 油 ・ ガ ス	ボイラー						0	
	乾燥機						0	
	溶接火花				1		1	
	石油ストーブ			1		1	2	
	ガスストーブ						0	
	溶断器						0	
車 両	交通事故	1					1	
	燃料漏れ						0	
	エンジンに接触						0	
	排気管			1			1	
	配線ショート		1			1	2	
故 意	放火・放火の疑い	8	4	5	4	3	24	
	火遊び	1			1		2	
そ の 他	取灰						0	
	火入れの火粉・枯草焼	2	4		1	2	9	
	虫焼き火	1		1			2	
	溶接・切断機の火花	1					1	
	その他の他	1	6	5	6	9	27	
	高温物の接触		1	1	1	0	3	
不明・調査中	3	5	7	7	12	34		
不 合 計		41	33	31	31	30	166	

# 25年別救急出場件数

年別	種別 出場件数 搬送件数 不搬送件数 搬送人員	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			合計
												転院搬送	医師搬送	その他の	
平成19年	出場件数	17		11	390	40	20	309	27	38	1,614	175	3	10	2,654
	搬送件数	3		8	374	39	20	298	23	32	1,540	173		1	2,511
	不搬送件数	14		3	16	1		11	4	6	74	2	3	9	143
	搬送人員	6		8	515	39	23	300	24	32	1,543	173		1	2,664
平成20年	出場件数	23		9	358	28	10	281	10	25	1,661	136	2	16	2,559
	搬送件数	7		4	335	28	10	271	8	18	1,590	132		3	2,406
	不搬送件数	16		5	23	0		10	2	7	71	4	2	13	153
	搬送人員	8		4	442	28	10	272	9	18	1,591	132		3	2,517
平成21年	出場件数	15		9	366	27	18	316	14	41	1,718	114		16	2,654
	搬送件数	3		5	343	26	18	302	11	29	1,627	112		2	2,478
	不搬送件数	12		4	23	1		14	3	12	91	2		14	176
	搬送人員	3		6	466	26	18	303	12	29	1,630	112		2	2,607
平成22年	出場件数	15		6	371	25	14	317	20	38	1,766	131	4	17	2,724
	搬送件数			5	352	24	14	304	18	22	1,661	130		4	2,534
	不搬送件数	15		1	19	1		13	2	16	105	1	4	13	190
	搬送人員			5	460	24	14	307	18	22	1,663	130		4	2,647
平成23年	出場件数	17	22	4	414	32	17	340	18	30	1,920	119	3	28	2,964
	搬送件数	1	11	1	392	31	17	331	15	17	1,820	116		8	2,760
	不搬送件数	16	11	3	22	1	0	9	3	13	100	3	3	20	204
	搬送人員	3	13	1	498	31	17	333	15	17	1,823	116		8	2,875
5年間	合計	87	22	39	1,899	152	79	1,563	89	172	8,679	675	12	87	13,555

## 26 年別・地区別・救急発生件数

年 別 地 区 別		平	平	平	平	平	5 年 間		
		成 19 年	成 20 年	成 21 年	成 21 年	成 23 年	地 区 別 小 計	地 区 別 合 計	地 区 別 比 率 (%)
旭 地 区	中 央	694	697	644	729	786	3,550	8,121	59.9
	矢 指	151	140	169	202	195	857		
	富 浦	160	173	194	169	189	885		
	干 潟	151	172	151	164	190	828		
	豊 畑	97	103	144	137	136	617		
	共 和	166	167	160	133	158	784		
	嚶 鳴	124	115	121	117	123	600		
海 上 地 区	嚶 鳴	163	140	154	150	188	795	1,769	13.1
	滝 郷	86	79	84	80	71	400		
	鶴 巻	100	105	123	121	125	574		
飯 岡 地 区	飯 岡	270	220	242	269	275	1,276	2,318	17.1
	三 川	184	171	184	180	214	933		
	埴	30	16	20	27	16	109		
干 潟 地 区	萬 歳	48	72	52	44	67	283	1,309	9.7
	中 和	103	87	100	82	103	475		
	古 城	120	93	105	109	124	551		
管 外		7	9	7	11	4	38		0.3
合 計		2,654	2,559	2,654	2,724	2,964	13,555		100.0

# 27 平成23年地区別救急発生件数・搬送人員数

地区別	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			地区別小計	地区別合計
												転院搬送	医師搬送	その他		
旭地区	中央	2			129	5	7	92	5	5	426	103	3	9	786	1,777
					149	5	7	87	4	1	392	101			746	
	矢指		4		23	2		22	1	2	133	5		3	195	
			1		29	2		24	1	2	131	4		1	195	
	富浦		4		20	3		18			136	5		3	189	
			1		22	3		18			126	5		1	176	
	干潟	3			28	5	3	20		3	128				190	
					35	5	3	20		2	119				184	
	豊畑				25			14	1	2	94				136	
					30			14		2	89				135	
共和				32	2		10	2	2	104	4		2	158		
				46	2		10	2	2	103	4		2	171		
嚶鳴	1			21	4		14	2		78			3	123		
				25	4		13	2		73			2	119		
海上地区	嚶鳴	2			29	1	2	24	1	2	127				188	
					37	1	2	24	1	1	123				189	
	滝郷				13			9			48	1			71	
					26			9			47	1			83	
	鶴巻				19			18	1	2	84			1	125	
				19			18	1		80				118		
飯岡地区	飯岡	5	12	2	14	4	1	40	1	6	189			1	275	
			9		14	4	1	39	1	5	181				254	
	三川	2	2	1	20	1		30	4	4	146			4	214	
			2		25	1		30	3	1	144			2	208	
塙				1	1		3			11				16		
				1	1		3			10				15		
干潟地区	萬歳	2			9	2		1		1	52				67	
		3			8	2		1		1	49				64	
	中和				11	2	4	13			72			1	103	
					12	1	4	13			69				99	
	古城			1	17			12		1	92			1	124	
			1	17			10			87				115		
管外				3							1			4		
				3							1			4		
合計		17	22	4	414	32	17	340	18	30	1,920	119	3	28	2,964	
		3	13	1	498	31	17	333	15	17	1,823	116		8	2,875	

(注) 上段は発生件数、下段は搬送人員数

## 28 特 別 救 助 隊 の あ ゆ み

年	月	日	摘	要	
昭和	49	10	2	救助隊発足の基礎として消防学校救助科入校	2名
		11	1	隊長以下7名にて特別救助隊発足	
昭和	50	10	1	救助隊7名増員し隊長以下14名となる。	
平成	18	4	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下24名
		6	28	第31回消防救助千葉県大会出場 はしご登はん ロープブリッジ渡過	2位・入賞 5位・入賞
		8	21	消防大学救助科入校	1名
		10	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下25名
平成	19	4	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下25名
		6	26	第32回消防救助千葉県大会出場 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ほふく救出	2位、4位入賞 2位、3位入賞 1位入賞
		8	22	第36回全国消防救助技術大会 ほふく救出	2位
		8	22	消防大学救助科入校	1名
		10	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下24名
平成	20	4	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下24名
		6	25	第33回消防救助千葉県大会出場 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ほふく救出	3位、5位入賞 2位、6位入賞 3位入賞
		8	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下23名
		10	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下24名
平成	21	4	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下24名
		7	23	第38回消防救助技術関東地区指導会出場 障害突破	
		11	9	千葉県消防学校特殊災害科入校	1名
平成	22	4	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下25名
		6	29	第34回消防救助技術千葉県大会 ロープ応用登はん ロープブリッジ渡過 ほふく救出	2位、4位入賞 2位入賞 1位入賞
		8	27	第39回全国消防救助技術大会 ほふく救出	9位入賞
		9	28	千葉県消防学校救助科入校	1名
		10	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下25名
		11	9	千葉県消防学校特殊災害科入校	1名
平成	23	4	1	隊員数	隊長以下25名
		9	28	千葉県消防学校救助科入校	1名
		11	8	千葉県消防学校特殊災害科入校	1名
平成	24	4	1	隊員の人事異動を行う。	隊長以下21名

## 29 特別救助隊編成表

平成24年4月1日 現在

階級 隊員	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
隊長	1				1
副隊長	2				2
隊員		5	11	2	18
合計	3	5	11	2	21

## 30 年別救助出場状況

種別	年別 区分	平成19年			平成20年			平成21年			平成22年			平成23年		
		件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者
交通事故		20	2	31	27		53	29	2	56	20	2	38	17	1	22
水難		5	1	3	5	1	3	3	1	1	2	1	1	2	1	
建物等による事故					1											
機械による事故		2		1	1		1	1		1	1		1			
火災																
その他		7	1	2	11	1	8	11	2	3	3	1	2	11	2	6
合計		34	4	37	45	2	65	44	5	61	26	4	42	30	4	28

### 3 1 平成23年救助活動状況

種別	区分 出場件数	左のうち、救助活動に従事したもの		
		件数	死者	負傷者
交通事故	17	8	1	12
水難	2	1	1	
建物等による事故				
機械による事故				
その他	11	5		2
合計	30	14	2	14

### 3 2 平成23年地区別救助出場件数

種別	地区別		旭地区			飯岡地区			海上地区			干潟地区			合計		
	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者	件数	死者	負傷者		
交通事故	11	1	15	2		2	1		1	3		4	17	1	22		
水難				1						1	1		2	1			
建物等による事故																	
機械による事故																	
その他	4		3	6	2	3	1						11	2	6		
合計	15	1	18	9	2	5	2	0	1	4	1	4	30	4	28		



### 33 平成23年消防隊出場状況

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
合 計	回 数	63	57	24	13	48	39	43	43	55	40	34	42	501
	出場台数	82	77	63	25	56	54	56	52	64	52	38	58	677
	延 人 員	274	251	202	89	175	158	170	152	196	157	114	174	2,112
火 災	回 数	5	5	4	4	1	0	2	2	1	2	1	3	30
	出場台数	14	24	26	13	3	0	14	4	8	10	3	15	134
	延 人 員	48	72	71	46	9	0	45	16	23	27	11	50	418
火 災 (管外)	回 数			1					1					2
	出場台数			6					1					7
	延 人 員			20					3					23
救急支援	回 数	52	50	13	6	43	36	38	36	32	35	32	38	411
	出場台数	52	50	13	6	43	36	38	36	32	35	32	38	411
	延 人 員	173	171	50	21	130	100	110	98	93	111	93	106	1,256
風 水 害 (非風水害舎)	回 数									14				14
	出場台数									14				14
	延 人 員									49				49
危 険 物 排 除	回 数			1		1	2	2	1	1	1			9
	出場台数			5		1	17	2	1	1	3			30
	延 人 員			13		3	54	7	3	3	6			89
特 別 警 戒	回 数	1			1									2
	出場台数	2			2									4
	延 人 員	7			7									14
非 火 災	回 数	5	2	5	2	3	1	1	3	7	2	1	1	33
	出場台数	14	3	13	4	9	1	2	10	9	4	3	5	77
	延 人 員	46	8	48	15	33	4	8	32	28	13	10	18	263

### 34 東北地方太平洋沖地震【東日本大震災】に伴う活動状況等

平成 23 年 3 月 11 日 14:46 旭市の震度 5 強

津波の高さ 6.4メートル (推定)

人的被害 死者 13 名・行方不明者 2 名・中軽症者 12 名

発災から 24 時間の総出場件数 97 件

災害警戒広報 5 件

災害出場 43 件

火災出場 (偵察含) 2 件

救急出場 自然災害 21 件

急病 15 件

交通 4 件

一般負傷 4 件

火災 2 件

その他 1 件

消防施設の被災状況

消防本部 (舗装配水管等の歪み、断裂)

消防署水槽付ポンプ車 1 台

飯岡分署 (庁舎、電気・通信設備等)、軽ワゴン車 1 台

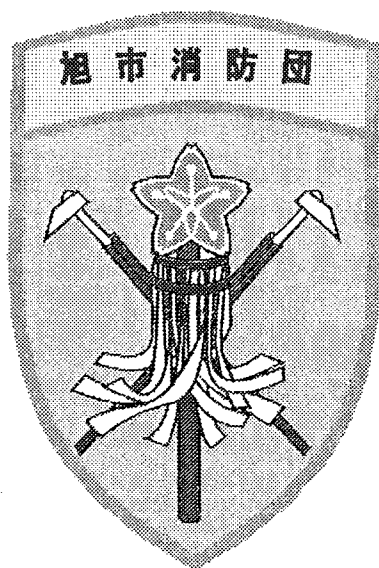
干潟分署 (庁舎外壁等)

防火水槽 (天蓋破損、亀裂、隆起等)

消防団消防庫 (全壊 1・半壊 1・床上浸水 1)

消防団車両 (全損 3 台)

# 消 防 団



## 【 消 防 団 】

1 消 防 団 の 概 要	30
2 階 級 別 消 防 団 員 数	31
3 消 防 団 員 配 置 状 況	31
(1) 第 1 ・ 2 中 隊	31
(2) 第 3 中 隊	32
(3) 第 4 中 隊	32
(4) 第 5 中 隊	33
4 階 級 別 消 防 団 員 勤 続 年 数 表	34
5 階 級 別 消 防 団 員 年 齢 表	35
6 消 防 団 及 び 消 防 団 員 に 関 す る こ と	36
(1) 年間の主な行事（平成23年度）	36
(2) 消防団の出場状況（平成23年中）	36
(3) 団員の処遇	37
ア 報酬・手当	37
イ 退職報償金(5年以上勤続消防団員に支給・一般団員の場合の額)	37
ウ 共済制度(公務災害補償)	37
7 東北地方太平洋沖地震【東日本大震災】に伴う活動状況(消防団)	37
8 旭市消防団警戒区域・火災出場範囲表	38
9 消防団配置車両状況	39
(1) 第 1 ・ 2 中 隊	39
(2) 第 3 中 隊	40
(3) 第 4 中 隊	41
(4) 第 5 中 隊	42

# 1. 旭市消防団の概要

## (1) 旭市消防団の経緯

平成17年7月1日、旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併し、旭市の誕生に伴い1市3町の消防団を統合し、旭市消防団が発足し、消防団本部を消防本部内に設置する。

## (2) 消防団の現況（平成24年4月1日 現在）

・ 団員定数	1,052名
・ 実団員数	964名（うち機能別団員71名）
・ 団構成	団本部 5中隊 16分団 47部
・ 車輛構成	① 水槽付消防ポンプ自動車 7台
	② 消防ポンプ自動車 12台
	③ 小型ポンプ積載車 30台
	計 49台
	団本部連絡車 1台

## 2. 階級別消防団員数

平成24年4月1日 現在

階級別 定数 実数	団	副	本	分	副	部	班	団	合
	長	団	部	分	分	長	長	員	計
定数	1	5	11	16	16	47	164	792	1,052
実数	1	5	16	16	16	47	150	713 (71)	964 (71)

\* ( )内は機能別消防団員数

## 3. 消防団員配置状況

(1) 【第1・2中隊】

平成24年4月1日 現在

階級別 定数 実数	分	副	部	班	団	合
	分	分	長	長	員	計
定数	1	1	3	8	49	62
実数	1	1	3	6	46 (2)	57 (2)
定数	1	1	3	7	43	55
実数	1	1	3	7	43 (6)	55 (6)
定数	1	1	3	7	48	60
実数	1	1	3	6	48 (8)	60 (8)
定数	1	1	3	6	39	50
実数	1	1	3	6	39 (3)	50 (3)
定数	1	1	3	6	43	54
実数	1	1	3	6	43 (7)	54 (7)
定数	1	1	2	5	28	37
実数	1	1	2	5	28 (6)	37 (6)
合計	7	7	20	45	296 (42)	375 (42)

( )内は機能別消防団員数

( 2 ) 【 第 3 中 隊 】

平成24年4月1日 現在

階級別 定数 実数	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合
						計
第 1 分 団	1	1	3	9	54	68
					(14)	(14)
第 2 分 団	1	1	3	9	48	62
					0	0
第 3 分 団	1	1	3	15	41	61
					(1)	(1)
合 計	3	3	9	33	143	191
					(15)	(15)

( )内は機能別消防団員数

( 3 ) 【 第 4 中 隊 】

平成24年4月1日 現在

階級別 定数 実数	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合
						計
第 1 分 団	1	1	3	16	45	66
					(3)	(3)
第 2 分 団	1	1	3	8	49	62
					(9)	(9)
第 3 分 団	1	1	3	12	48	65
					(1)	(1)
合 計	3	3	9	36	142	193
					(13)	(13)

( )内は機能別消防団員数

(4)【第5中隊】

平成24年4月1日 現在

階級別 定数 実数	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
第1分団	1	1	3	7	36 (1)	48 (1)
第2分団	1	1	3	12	32 0	49 0
第3分団	1	1	3	17	64 0	86 0
合 計	3	3	9	36	132 (1)	183 (1)

( )内は機能別消防団員数



## 4. 階級別消防団員勤続年数表

平成24年4月1日 現在

階級別 年数	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
5年未満			2	3	3	18	72	494	592
5～10未満		1	2	5	12	26	72	156	274
10～15未満		2	6	7	1	3	5	50	74
15～20未満	1	1	3	1			1	7	14
20～25未満			0					4	4
25～30未満		1	3					2	6
30年以上									
合計	1	5	16	16	16	47	150	713	964

団員は機能別団員を含む

## 消防団員勤続年数比

平成24年4月1日 現在

区分	5年未満	5年以上 ～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上 ～ 20年未満	20年以上 ～ 25年未満	25年以上
団員数(人)	592	274	74	14	4	6
(構成比%)	61.41	28.42	7.68	1.45	0.42	0.62

## 5. 階級別消防団員年齢表

平成24年4月1日 現在

階級別 年 齢	団 長	副 団 長	本 部 員	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳未満									
18～20未満								1	1
20～25未満								58	58
25～30未満						9	40	219	268
30～35未満					1	15	74	237	327
35～40未満			4	8	8	21	29	145	215
40～45未満			5	6	7	1	7	38	64
45～50未満		3	3	2		1		9	18
50～55未満		1	3					6	10
55～60未満		1	1						2
60以上	1								1
合 計	1	5	16	16	16	47	150	713	964

団員は機能別団員を含む

## 消 防 団 員 年 齢 比

平成24年4月1日 現在

区分	20歳未満	20歳以上 ～ 30歳未満	30歳以上 ～ 40歳未満	40歳以上 ～ 50歳未満	50歳以上 ～ 60歳未満	60歳以上
団員数(人)	1	326	542	82	12	1
(構成比%)	0.10	33.82	56.22	8.51	1.24	0.10

## 6. 消防団及び消防団員に関すること

### (1) 年間の主な行事 (平成23年度)

4月		10月	・産業まつり参加
5月		11月	・産業まつり参加 ・秋季火災予防運動 ・海匠支部行政視察研修 ・津波避難訓練
6月	・規律訓練	12月	・規律訓練 ・歳末警戒
7月		1月	・消防出初式
8月		2月	・消防ポンプ・無線機器点検 ・消防団行政視察研修
9月		3月	・団広報紙「団報」の編集発行 ・春季火災予防運動

### (2) 消防団の出場状況(平成23年中)

区 分	回 数	述べ車両	延べ人員	備 考
火 災	40	256	1,580	建物 14 林野 1 車両 3 その他 22
風水害等				
演習・操法 大会訓練	5	219	3,296	規律訓練、出初式 ポンプ点検、定例試運転 津波避難訓練
特別警戒	2	52	1,000	12月29日・30日歳末警戒市内全地区 行方不明者捜索等
合計	47	527	5,876	

(3) 団員の処遇

ア 報酬・手当

平成24年4月1日 現在

種 類	金 額	種 類	金 額
報 酬  (年 間)	団 長	110,000円	手 当  火災出場 6,000円/1隊1回  訓練出場 1,000円/1人1回
	副 団 長	72,000円	
	分 団 長	58,000円	
	副分 団長	45,000円	
	部 長	35,000円	
	班 長	20,000円	
	団 員	17,000円	

イ 退職報償金(5年以上勤続消防団員に支給・一般団員の場合の額)

5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20～25年未満	25～30年未満	30年以上
144千円	214千円	284千円	359千円	469千円	639千円

ウ 共済制度(公務災害補償)

- ・ 公務中 全額支給(休業補償あり)
- ・ 公務外 20日以上入院の場合支給

7. 東北地方太平洋沖地震【東日本大震災】に伴う活動状況 (平成23年3月11日～3月31日)

月 日	活動内容	延べ人員	延べ車両	備 考
3月11日	救出・救助、警戒広報、避難誘導、物資輸送	378人	51台	
3月12日	警戒広報、避難誘導、火災防御、捜索、災害復旧	382人	51台	
3月13日	津波警戒避難広報、行方不明者捜索、避難所用水補給	377人	38台	
3月14日	瓦礫撤去、行方不明者捜索、避難所用水補給、交通整理	148人	26台	
3月15日	瓦礫撤去、行方不明者捜索、避難所用水補給、交通整理	144人	31台	
3月16日～26日	行方不明者捜索、交通整理、夜間火災警戒	367人	27台	
3月27日～31日	瓦礫置き場の散水、夜間火災警戒	140人	19台	

# 8. 旭市消防団警戒区域・火災出場範囲表

■は、第2出場指定区域(一部指定を含む)

平成24年4月1日 現在

所属	管轄区域	車両種別	特命出動	第1出場	第2出場	第3出場	
第一中隊・旭	第1分団	■ 新田、東町、新町、仲町、田町、塚前、街道、潮道	タンク車	特命出動する分団	旭第1分団 旭2-1 3-1 旭4-1 4-2	第1出場に加え 旭2-2 2-3 3-2 3-3 3-4 4-3 旭7-1 7-2 海1-3 2-1 2-2 2-3	第2出場に加え 海1-1 飯3-1 千2-1
		■ 桐戸	ポンプ車				
		■ 十日市場岡	ポンプ車				
	第2分団	1部 椎名内浜、西足洗浜	タンク車		旭第2分団 旭1-1 3-1 旭3-2 3-3	旭1-2 1-3 4-1 4-2 4-3 旭6-1 6-2 海2-1 飯3-1 3-2 3-3	海1-1 1-3 2-2
		2部 足川浜、十日市場浜、足川岡、椎名内岡	小型ポンプ積載車				
		3部 野中、東足洗岡、西足洗岡	小型ポンプ積載車				
	第3分団	1部 中谷里岡、仁玉岡	タンク車		旭第3分団 旭1-1 2-1 旭4-1 5-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 4-2 4-3 旭5-2 5-3	海2-1 2-2 飯3-1 3-2 3-3
		2部 川向浜、仁玉浜、中谷里浜、神宮寺浜、駒込浜、井戸野浜	小型ポンプ積載車				
		3部 神宮寺岡	小型ポンプ積載車				
第二中隊・旭	第4分団	■ 干潟、干潟南、神西、川口二区・八軒町	タンク車	特命出動する分団	旭第4分団 旭1-1 3-1 旭5-1 6-1	旭1-2 1-3 3-2 3-3 5-2 5-3 旭6-2 6-3 7-1 7-2 千2-1	海2-1 2-2 2-3 千3-1 3-2 3-3
		■ 宿天神、新川、馬場若衆内	ポンプ車				
		■ 袋	小型ポンプ積載車				
	第5分団	1部 井戸野(上・中・下)	ポンプ車		旭第5分団 旭1-1 2-1 旭3-1 4-1	旭1-2 1-3 2-2 2-3 3-2 3-3 旭4-2 4-3	海2-1 千3-1 3-2 3-3
		2部 川口	小型ポンプ積載車				
		3部 泉川、駒込岡、大塚原	小型ポンプ積載車				
	第6分団	1部 新町(上町・仲町・下町)	タンク車		旭第6分団 旭1-1 4-1 旭7-1 千2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 7-2 海2-1 千2-3 3-3	千2-2
		2部 鎌数溜下、鎌数宮本、鎌数元締	小型ポンプ積載車				
		3部 鎌数小川、鎌数谷町場	小型ポンプ積載車				
	第7分団	1部 東琴田、中琴田、江ヶ崎、江ヶ崎西	ポンプ車		旭第7分団 旭1-1 4-1 旭6-1 海2-3 千2-1	旭1-2 1-3 4-2 4-3 6-2 6-3 海2-1 2-2	千2-3
		2部 西琴田	小型ポンプ積載車				
	第三中隊・海上	第1分団	1部 見広、大間手		ポンプ車	特命出動する分団	海第1分団 海2-1 3-1 飯2-1 3-1
2部 倉橋(横根飛地)			小型ポンプ積載車				
3部 蛇園			ポンプ車				
第2分団		■ 広原(東・仲・南・西)	タンク車	海第2分団 海1-1 3-1 旭1-2 7-1	旭1-1 1-3 4-2 4-3 旭6-1 7-2 飯3-1		飯2-3 3-2 3-3 千1-1 1-2 1-3
		2部 後草	ポンプ車				
		3部 琴田、沖、高生	小型ポンプ積載車				
第3分団		1部 清滝	ポンプ車	海第3分団 海1-1 1-3 旭2-1 2-2	旭6-1 7-1 7-2 飯3-1 3-2 千1-1		飯3-3 千1-2 1-3 2-1
		2部 幾世	小型ポンプ積載車				
		3部 岩井、松ヶ谷	小型ポンプ積載車				
第四中隊・飯岡	第1分団	1部 上永井、南町	小型ポンプ積載車	特命出動する分団	飯第1分団 飯2-2 2-3 飯3-1 3-3	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 3-1 海1-3 2-1	旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3
		2部 本町、横根東浜、下永井(永井岡・東町・西上町・西下町)	ポンプ車				
		3部 川端町、小綱町、広綱町、大崎町、並木町、飯岡岡	タンク車				
	第2分団	1部 塙東町、塙西町、塙新町	小型ポンプ積載車		飯第2分団 飯1-2 1-3 飯3-1 3-3	旭1-1 1-2 1-3 旭2-1 2-2 2-3 旭3-1 海1-2(塙地区) 1-3 2-1	旭3-2 3-3 海1-1 1-2 海2-2 2-3
		2部 八軒町、行内、平松岡、平松浜	小型ポンプ積載車				
		3部 萩園、横根西浜、横根岡、双葉町	ポンプ車				
	第3分団	1部 曾根、目那	タンク車		飯第3分団 飯1-2 1-3 飯2-2 2-3	旭1-2 2-1 2-2 2-3 海1-3 2-1	旭1-1 1-3 海1-1 1-2
		2部 犬林、上宿、下宿、後	小型ポンプ積載車				
		3部 三川浜、県営飯岡団地	小型ポンプ積載車				
第五中隊・干潟	第1分団	1部 東2.3 萬歳(御用地長岡丁場・太田丁場)	小型ポンプ積載車	特命出動する分団	干第1分団 干第2分団 旭6-1 7-1	旭7-2 海2-2 3-1 3-2	旭6-2 6-3 海2-1 2-3 3-3
		2部 東1.7 萬歳(水門)、桜井(大久保飛地)	小型ポンプ積載車				
		3部 東4.5 萬歳(柳辺)、関戸	小型ポンプ積載車				
		東6 清原(さくら台)	小型ポンプ積載車				
	第2分団	1部 中3.4.5.6 東入野、西入野、米込(三番割・二番割)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干1-3 3-2 干3-3 旭6-1 7-1	旭6-2 6-3 7-2 海2-2	旭4-1 4-2 4-3 海2-1 2-3
		2部 中1.2.10.11 清和甲、松沢開墾、長部	小型ポンプ積載車				
		3部 中7.8.9.12.13 米込、南堀之内、清和乙、県営住宅、白寿園	小型ポンプ積載車				
	第3分団	1部 西1.5.6.7.8 鏡木(宿内・内宿・塙台・湯木・宿)	小型ポンプ積載車		干第2分団 干第3分団 旭4-1 6-1	旭4-2 4-3 6-2 6-3	旭5-1 5-2 5-3 旭7-1 7-2
		2部 西2・4・9・10・11 萬力(萬力下・百石・萬力上・高根)	小型ポンプ積載車				
		西3.12 鏡木(愛宕・河岸湖)	小型ポンプ積載車				
		3部 西13.14.15 萬力(新発田、六軒屋下、上) 西16.17.18 萬力(三軒屋東、西・秋田)	小型ポンプ積載車				

## 9.消防団の配置車両状況

( 1 ) 第 1 ・ 2 中 隊 ( 旭 )

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別
1	1 日 野	タ ン ク 車	平成19年	日本造機	平成19年	A2
	2 いすゞ	ポ ン プ 車	平成16年	日本造機	平成16年	A2
	3 いすゞ	ポ ン プ 車	平成9年	野口ポンプ	平成9年	A2
2	1 日 野	タ ン ク 車	平成11年	野口ポンプ	平成11年	A2
	2 ニッサン	小型ポンプ積載車	平成21年	富士ロビン	平成21年	B2
	3 ニッサン	小型ポンプ積載車	平成21年	富士ロビン	平成21年	B2
3	1 日 野	タ ン ク 車	平成16年	日本造機	平成16年	A2
	2 日 野	水槽付小型ポンプ積載車	平成21年	ト ー ハ ツ	平成21年	B2
	3 ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
4	1 日 野	タ ン ク 車	平成21年	森田ポンプ	平成21年	A2
	2 いすゞ	ポ ン プ 車	平成9年	野口ポンプ	平成9年	A2
	3 ニッサン	小型ポンプ積載車	平成22年	ト ー ハ ツ	平成22年	B2
5	1 いすゞ	ポ ン プ 車	平成17年	GMいちはら	平成17年	A2
	2 ニッサン	小型ポンプ積載車	平成22年	ト ー ハ ツ	平成22年	B2
	3 ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成9年	B2
6	1 日 野	タ ン ク 車	平成17年	GMいちはら	平成17年	A2
	2 ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成8年	B2
	3 いすゞ	小型ポンプ積載車	平成21年	ト ー ハ ツ	平成21年	B2
7	1 日 野	ポ ン プ 車	平成18年	森田ポンプ	平成18年	A2
	2 トヨタ	小型ポンプ積載車	平成8年	富士ロビン	平成14年	B2

( 2 ) 第 3 中 隊 ( 海 上 )

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニッサン	ポ ン プ 車	平成10年	GMいちはら	平成10年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成21年	GMいちはら	平成21年	A2
2	1	日 野	タ ン ク 車	平成20年	GMいちはら	平成20年	A2
	2	ニッサン	ポ ン プ 車	平成12年	GMいちはら	平成12年	A2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
3	1	ニッサン	ポ ン プ 車	平成11年	野口ポンプ	平成11年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成17年	B3

## ( 3 ) 第 4 中 隊 ( 飯 岡 )

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成10年	富士ロビン	平成10年	B3
	2	ニッサン	ポ ン プ 車	平成14年	GMいちほら	平成14年	A2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成23年	GMいちほら	平成23年	A2
2	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2
	3	日 野	ポ ン プ 車	平成23年	GMいちほら	平成23年	A2
3	1	日 野	タ ン ク 車	平成15年	GMいちほら	平成15年	A2
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成23年	ト ー ハ ヅ	平成23年	B2
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成19年	富士ロビン	平成19年	B2



( 4 ) 第 5 中 隊 ( 干 潟 )

所 属	車 名	種 別	年 式	ポンプ製造会社	ポンプ 年 式	ポンプ 級 別	
1	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3-1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3-2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
2	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3
	2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
3	1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	2-1	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3
	2-2	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成11年	富士ロビン	平成11年	B3
	3	ニッサン	小型ポンプ積載車	平成13年	富士ロビン	平成13年	B3